



## 2017 年は航空の歴史で事故最少の年

2017 年 12 月末、Aviation Safety Network (ASN) は「ASN のデータでは、2017 年は航空の歴史で一番安全な年であった」と発表しました。

ASN のデータでは、2017 年の航空会社による死亡事故は 10 件で、乗員を含む搭乗者の死亡者は 44 名、事故に関係する地上の死亡者は 35 名でした（注 1）。過去の統計と比較すると、死亡事故件数、死亡者数ともに過去最少となりました（注 2）。ちなみに 2016 年は 16 件の死亡事故があり、搭乗者の死亡が 303 名でした。

2017 年に発生した死亡事故 10 件の内訳は貨物機が 5 件、旅客機が 5 件でした。全世界の年間便数は 3,680 万フライトと推定されますので、旅客機の死亡事故は 736 万便で 1 件となります。ASN の Harro Rante 代表は、「1997 年以降、航空会社の事故は着実に減少傾向にあり、ICAO や IATA、Flight Safety Foundation、その他航空関係者の努力の成果である。」と表明しています。

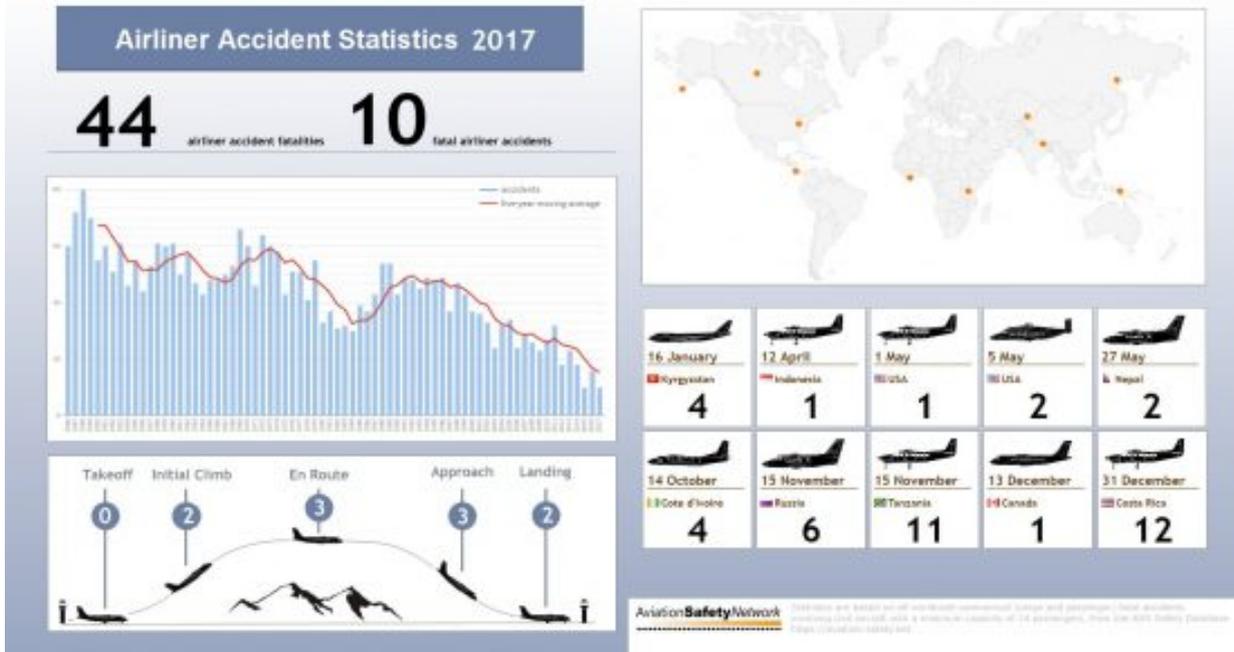
2017 年末の時点で、ジェット機旅客便の無事故は 398 日続いており、死亡者が 100 名を超える事故は 792 日間発生していません（注 3）。

なお、10 件のうち EU のブラックリストにあり、安全基準を満たさないためヨーロッパ乗り入れを禁止されている航空会社の事故は 1 件で、2017 年 4 月 12 日のインドネシア Split Avia Sentosa の Caravan1 貨物機（単発ターボプロップ、基本型式乗客定員 14 名）の事故で、死亡者 1 名でした。

（注 1）地上の死亡者 35 名を出した B747-400F 貨物機の事故は、[ALPA Japan ニュース 40-26](#)を参照のこと。

（注 2）この統計は旅客便、貨物便を合わせた民間航空の死亡事故数であり、基本型式で乗客定員が 14 名以上の機体を対象としている。従って、2017 年 6 月 7 日に発生したミャンマー空軍の Y-8F 輸送機の 122 名死亡の事故など、軍用機の事故は含まれていない。

（注 3）現時点で最近のジェット旅客機の事故は、2016 年 11 月 28 日にコロンビアで発生した Avro RJ85 の事故。100 名以上の死亡者を出した最近の事故は、2015 年 10 月 31 日のエジプトでの Airbus A321。



左上のグラフ：1946年から2017年までの死亡事故件数（青）と5年移動平均（赤）  
 右上の地図：世界地図に事故現場を投影（茶色）  
 右下の事故機シルエット：2017年に発生した事故発生日、発生国と死亡者数。

以上